

## 議 事 録

件 名		第7回 町田市下水道ビジョン策定懇談会
日 時		2011年10月21日(金) 9:30～10:30
場 所		森野分庁舎 2階 第一会議室
出席者 (敬称略)	委 員 *:会長	高千穂 安長委員*、長岡 裕委員、松本 暢子委員、 市古 太郎委員、盛永 久恵委員、石川 旭委員、 渡辺 洋委員 (欠席)松田 英行委員
	上下水道部	渋谷部長、工務課 福田課長、業務課 稲田課長、 水質管理課 細野課長、水再生課 河原課長
	事 務 局	上下水道総務課:小山課長、須原担当課長、川畑係長、 町田担当係長、保屋野
議 題	<b>1 パブリックコメントの結果について(報告)</b> <b>2 下水道ビジョンのまとめ</b> <b>3 下水道アクションプランのまとめ</b> <b>4 その他</b>	
議 題		
<b>市長挨拶</b>		
報告内容	<p>■懇談会に先立って、市長が挨拶。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年11月の懇談会発足以来、7回にわたって、下水道事業の将来構想をご検討いただきお礼申し上げます。</li> <li>・町田市下水道事業が本格的にスタートしたのは三多摩の中でも遅く、そのため汚水事業を優先して進めてきた結果、なんとか2013年度には市街化区域の汚水整備がほぼ完了する予定で、やっと他市に追いつくところまで来た。</li> <li>・しかし汚水事業を優先した結果、雨水事業で他市に遅れをとってしまい、今後重点的に取り組んでいかなければと考えている。この一環で、8月には整備が遅れている境川の改修について、神奈川県に直接出向いて要請を行った。</li> <li>・下水道整備が一段落し、安定的に機能し続けると、市民の下水道への関心も薄れていくと思われるが、まだまだ多くの課題を抱えており、財務も重要になってくると考えている。</li> <li>・このような状況の中、皆様方にご検討いただき、下水道ビジョンがまとまったことに対して、重ねてお礼申し上げます。</li> </ul>	
<b>議題 1 パブリックコメントの結果について(報告)</b>		
報告内容	<p>■8月に実施したパブリックコメントの結果について報告を行った。</p>	
検討結果	<p>■意見無し。</p>	
<b>議題 2 下水道ビジョンのまとめ</b>		
報告内容	<p>■前回懇談会(11/7/14)以降の修正点について報告し、最終確認を行った。</p>	
意見等	<p>■P.60の上から6行目に「毎年の起債発行額の抑制に努め」とあるが、今後30年の間に大規模な投資は予定していないのか。 →処理場の増設は来年度から行う鶴見川CCの増設で目途がたつ見通しであり、また30年以内に処理場の建て替えもないと思われることから、大規模な投資は今のところ予定していない。</p>	

意見等	<p>■ P.60のくだりだが、「起債発行額を抑制し、起債残高を削減する」から「起債発行額の抑制に努め、起債残高の削減を目指していく」になり、かなり表現がトーンダウンしているが。 →処理場の改築更新で、一時的に起債が増加する可能性があることから、表現を弱めた。</p> <p>■ 新規の起債発行を抑えれば起債残高が減ることなら、「可能な限り、起債残高の削減を目指していく」という文章にしてはどうか。 →検討する。</p>
検討結果	<p>■ 内容は概ね了解。</p>
<b>議題 3 下水道アクションプランのまとめ</b>	
報告内容	<p>■ 前回懇談会(11/7/14)以降の修正点について報告し、最終確認を行った。</p>
意見等	<p>■ P.7の下から2行目に「周辺住民の意見確認」とあるが、周辺住民の意見で決定するように受け取れる。 →市街化調整区域を下水道で整備する際には都市計画決定が必要となり、事前に住民の意見を聞く必要があることからこのような表現としている。</p> <p>■ P.8の高度処理化の目標だが、施設の割合でなく、導入することによって水質がどのくらい改善されるのかを表すことはできないのか。 →3~4割の窒素は取れると思うが、断定できないので目標を施設の割合とした。ただし、施設を導入することが目的ではないことから、向上した水質結果については色々な機会を通じて広く市民に公表していく考えである。</p> <p>■ P.10の浸水対策だが、今回の計画に反映する必要はないが、想定を超過するような大雨が発生している状況を鑑み、そういった大雨への対策も今後検討していくべきなのではないか。 →当面は50mm/hの雨への対策を進めるが、将来的には、検討すべき課題だと認識している。</p> <p>■ P.18の一般会計繰入金の見通しだが、雨水の整備を重点的に進める計画なのに一般会計繰入金が減少する見通しということだと、雨水整備は予定通り進むのか。 →市の一般会計も相当厳しい状況で、結果、繰入金も減少となっている。しかし、減少となった繰入金の見通しの下で整備可能な雨水事業をこのアクションプランでまとめている。</p> <p>■ P.19の表-3で施設ごとの整備費用が記載してあるが、前段の各事業のところに整備費用を示したほうがわかりやすいのでは。 →住民にとっては、事業費より事業の進捗のほうに関心があるのではないかと考え、個々に整備費用は記載しなかった。また、事業によっては費用が明確化していないものもあるので、記載できなかった。</p> <p>■ P.22の「汚泥」の用語説明だが、「有機物(=汚)と無機物(=泥)」は正しい表現なのか。 →確認する。</p>
検討結果	<p>■ 内容は概ね了解。</p>
<b>議題 4 その他</b>	
報告内容	<p>■ 事務局より、今後のスケジュールの説明と10/2に実施したエコフェスタの報告を行った。</p>